

## 祝 辞

東京都教育委員会教育長

坂本 雅彦

令和7年度全日本盲学校教育研究大会が、ここ東京都にて記念すべき第100回を迎えられ、盛大に開催されますことに心からお祝いを申し上げます。

全日本盲学校教育研究大会は、遡ること大正10年、東京都で第1回大会が開催されたとお聞きしております。以来、視覚障害教育に関わる諸研究を推進するとともに、研究の成果を生かし、児童・生徒に対する教育の充実・発展に御尽力いただいております。心から敬意を表します。

都立の視覚障害特別支援学校では、在籍する児童・生徒の障害の重度化が進むとともに、発達障害を併せ有する児童・生徒も増加しております。こうした状況を踏まえ、東京都教育委員会は、本年3月に策定しました東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画において、視覚に障害のある児童・生徒等に対する就学支援や地域の小・中学校と連携した就学後の支援の充実に取り組んでいます。また、一人1台端末の画面を見やすくすることができるアプリケーションや点字ディスプレイといったデジタル機器を活用した効果的な指導方法の研究にも取り組んでいます。

本大会で、貴会が「これからの盲学校の在り方を描く～全日盲研100年の節目に～」をテーマに研究協議をされることは、今後の視覚障害教育の更なる充実・発展に向けて大変意義深いことです。全国からお集まりの先生方が、これまで培ってきた視覚障害教育の専門性を共有し、学習効果を一層高めるための授業改善に活発に取り組んでいただくことを期待いたしますとともに、今回の研究成果が、全国各地における指導の充実に還元されますことを切に願っております。

結びになりますが、本研究大会の開催に当たり、御尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、参加された皆様の一層の御活躍と視覚障害教育の更なる御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。